

甲状腺検査に関するアンケート調査の実施概要について（案）

令和4年12月2日
福島県県民健康調査課

1 調査の目的

- (1) 検査のメリット・デメリットについての周知内容や方法の改善に係る議論の参考にするため、検査対象者（又は保護者）における検査のメリット・デメリットに係る認知度の確認を行う。
- (2) 今後の検査のあり方に係る議論の参考にするため、検査対象者（又は保護者）における検査に対する認識（放射線に対する不安の有無や検査の利便性（受けやすさ）の有無といった受診動機等）の確認を行う。

2 実施主体

福島県が実施主体となり、調査会社等に業務委託により実施する。

3 実施時期

令和5年6月頃（想定）

4 調査方法

- (1) 調査票や冊子「検査のメリット・デメリット」等を調査対象者に郵送する。
- (2) 回答は郵送のほか、ウェブ回答フォームを作成し、ウェブでの回答も可とする。
- (3) 匿名調査とし、対象者個人の特定は行わない。

5 調査対象者

以下の4つのグループを母集団として無作為抽出して行う

なお、年齢等については令和5年4月1日を基準とする。

※甲状腺検査の同意確認書に署名する方を調査の回答者とする。

ア 甲状腺検査対象者本人が中学生以下の場合

甲状腺検査対象者の保護者

イ 甲状腺検査対象者本人が中学卒業以上、18歳未満の場合

a 甲状腺検査対象者本人

b 甲状腺検査対象者の保護者（aの保護者であることを問わない）

ウ 甲状腺検査対象者本人の年齢が18歳以上の場合

甲状腺検査対象者本人

6 調査票等の送付数

区分 (R5.4.1時点)	母集団の人数	必要回答数	送付人数 (回収率10%想定)
ア 中学生以下	約6.4万人	約400人	4,000人
イ 中学卒業以上 ～18歳未満 a本人	約5.2万人	約400人	4,000人
イ 中学卒業以上 ～18歳未満 b保護者	約5.2万人	約400人	4,000人
ウ 18歳以上	約26.6万人	約400人	4,000人
合計	約43.4万人	約1,600人	16,000人

※¹「3 実施時期」については、「県民健康調査」検討委員会における議論を踏まえ、了承を得られてから実施するため、若干前後する可能性がある。

※²設問の設定にあたっては、「1 調査目的」に資する内容であることを前提とし、回答者の負担軽減を図るため、設問数は10問前後になるよう配慮した。